

2011年度日本計量生物学会年会・チュートリアルのご案内

和泉志津恵, 高橋邦彦, 手良向聡, 服部聡 (企画担当理事)

2011年度日本計量生物学会年会を6月2日(木)ならびに6月3日(金)午前到大阪大学吹田キャンパス銀杏会館ホールにて開催します。また、6月3日午後同一会場にてチュートリアルの講演を実施します。年会の一般講演を募集しますので奮ってご参加下さい。一般講演申込は下記の年会案内をご参照下さい。なお、前回の年会と同様に親子休憩室を設置しますので、お子様同伴でご参加いただけます。利用については下記の説明をご参照ください。

本年会は応用統計学会の後援で実施され、両学会員は本年会、6月3日のチュートリアル(計量生物学会と応用統計学会の共催)、並びに6月4日(土)開催の応用統計学会年会共に、会員価格で参加できます。本年会並びにチュートリアルの参加につきましては、原則として事前に参加申し込みをしていただきますよう、ご協力のほどお願いいたします。参加申込には、同封の申込用紙、もしくはHP：<http://www.soc.nii.ac.jp/jbs/> をご覧下さい。

年会およびチュートリアルの会場および参加要領

会場

大阪大学吹田キャンパス銀杏会館ホール

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘2-2、;

電話：050-5533-8500 (代)；

<http://www.office.med.osaka-u.ac.jp/icho/icho-jp.html>

参加費

会員、応用統計学会員 年会・チュートリアルそれぞれ3,000円、非会員5,000円

事前申込 各500円引き

年会とチュートリアル一括事前申込の場合、両方合わせて1,000円引き

学生(会員、非会員共に)1,000円。

参加申し込み期間

年会・チュートリアルは一括申込をお願いします

開始：4月1日(金)、締め切り：4月30日(土)

チュートリアル

6月3日(金) 14:00~16:30 (予定)

テーマ：「ロバスト推測 ～外れ値への対処方法～」

講師：藤澤洋徳(統計数理研究所)

【内容】 外れ値をケアせずにデータの解析をすると、きちんとした結果が得られないことがあります。たとえば、平均の代表的な推定方法である標本平均は、データに外れ値が混在していると、全くおかしな推定値を提示することがあります。本講座では、外れ値に対処するためのロバスト推測について解説します。平均や分散のロバスト推定という単純な話題から、ロバスト検定やロバストな回帰分析などの発展的な話題まで取り扱います。外れ値への対処方法を、単に解説するだけでなく、その方法の作り方なども説明します。なお、推定や検定に関する統計的推測の基礎知識は前提とします。

2011年日本計量生物学会年会

特別セッション： 6月3日（金）午前（予定）

セッション名：コホート内症例対照研究に関する手法と応用

オーガナイザー：和泉志津恵（大分大学）

【趣旨】

近年、遺伝子情報を含む生体マーカーを用いた分子疫学研究が盛んになり、コホートに基づく研究に対するデザインや解析手法について研究が行われている。本セッションでは、コホートに基づく症例対照研究に着目し、まず、研究デザインと統計的解析方法に関して概要を分かりやすく解説する。次に、研究計画を立案する際に必要な標本数と検出力の算出方法、そして統計的データ解析における曝露の効果の推定方法について話題を提供する。最後に、応用例を交え、統計的な課題について議論をする。本セッションにより、コホートに基づく症例対照研究における手法について理解が深まり、実例を交えた議論をとおして、疫学における統計的手法の発展のきっかけとなれば幸いである。

【演者・演題】（発表順、敬称略）

藤井良宜（宮崎大学） 「コホートに基づく観察研究のデザインと解析方法（仮）」

和泉志津恵（大分大学） 「コホート内症例対照研究を立案する際の標本数や検出力の算出方法」

田中佐智子（京都大学） 「ネスティッド・ケース・コントロール研究における重みつき Cox 回帰を用いた推定方法の比較（仮）」

玉腰暁子（愛知医科大学） 「JACC Study における生体マーカーと癌に関する症例対照研究（仮）」

大森崇（同志社大学） 「局所大気汚染と呼吸器疾患の関係を調べるための症例対照研究（仮）」

特別講演：6月2日（木）午前（予定）

演題：Construction and Three-way Ordination of the Wheat Phenome Atlas

演者：Professor Kaye E. Basford (Deputy President, Academic Board Head, School of Land, Crop and Food Sciences, The University of Queensland)

一般講演の申し込み

以下の分野毎に演題を募集します。

- A. 臨床研究・臨床診断学, B. 疫学, C. ゲノム・バイオインフォマティクス,
- D. 農業・環境・資源, E. 医薬品・医療機器等, F. その他

応募の際には、ご希望される分野名を必ずご指定下さい。

分野毎の演題募集には、学会の独自性・特色をより打ち出し、専門性を深めるといふねらいがあります。分野毎に、より踏み込んだ活発な議論を期待しております。会員の皆様の積極的なご発表をお願い致します。

(1) 申し込み方法：

発表者氏名、所属（共同の場合は全員の氏名、所属）、講演題目、連絡先を明記の上、電子メール、ファックスあるいは葉書で下記にお送り下さい。また、Biometric Bulletin への掲載のためにお手数ですが、講演題目、発表者氏名、所属についての英語版も合わせてお送り下さい。

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町3-6 能楽書林ビル5階 (財) 統計情報研究開発センター内
日本計量生物学会事務局

E-mail: biometrics@sinfonica.or.jp; Fax: 03-3234-7472

HP: <http://wwwsoc.nii.ac.jp/jbs/>

(2) 発表申し込み受付開始 2011年3月 7日（月）

(3) 発表申し込み締め切り 2011年3月31日（木）

(4) 予稿原稿締切（必着） 2011年4月25日（月）

ご講演を申し込まれた方には予稿原稿執筆要領をお送りします。

親子休憩室の設置について

前回の年会と同様に、チュートリアルセミナーおよび年会期間中、親子休憩室を設置します。お子さん同伴で安心してご参加いただけます。なお、親子休憩室でのお子さんの安全確保のため、親子休憩室では保護者が同伴することを条件とします。準備の都合上、参加申込書にご利用人数を記入ください。

その他

- ・年会期間中に日本計量生物学会総会及び学会賞授与式、並びに評議員会を開催します。
- ・6月4日（土）には応用統計学会年会が本年会と同会場にて開催されます。参加費は正会員，後援学会員 3,000 円，非会員 5,000 円，学生（会員，非会員とも）1,000 円です。

会場周辺案内図

